

桑芸祭 2018 芸術の森キャンパス

ショーケース 参加ガイドライン

2018年6月6日(水)
札幌市立大学大学祭実行委員会
芸術の森キャンパス 事務局

基本情報

「ショーケース」とは

- ・ステージにて各団体・サークル・個人による発表をを大学祭にて実施し、大学祭全体としての機運・雰囲気醸成と、より活発な学生主体の活動を奨めるものです。また、なかなかない舞台環境と動員人数によって日々の活動の成果発表の場をさらに盛り上げていきます。

募集期間

- ・2018年6月6日(水) 12:30 ~ 6月27日(水) 23:59

応募資格

- ・個人またはグループ
- ・グループの場合、最低1名は札幌市立大学の学生であること
- ・代表者は18歳以上で、代表者及び当該団体の参加者は本ガイドライン・桑芸祭スタッフの指示を遵守いただける方に限ります。

お問い合わせ先

- ・札幌市立大学大学祭実行委員会 芸術の森キャンパス事務局
ショーケースグループ
(担当：沼田、松村、川上、鴻野、笠原、三河)
メール：ge.show@sougeisai.com
事務局：芸術の森キャンパスD棟 学生コミュニティルーム1

基本的なルール

- ・大学祭におけるステージ2箇所いずれかで実施できる企画・発表ならなんでもOK!
- ・ただし、大学祭2日間のいずれかの時間帯で必ず発表・公開できるように、スケジュールを調整してください。
- ・大学内外からいらっしゃる来場者を念頭に置いて、企画立案をお願い致します。
- ・今年のテーマ「Colorful」とメインメッセージを踏まえた企画ですととても嬉しいです。
- ・ショーケースの場において、金銭の授受は一切認めません。グッズ販売などを行いたい場合は、飲食模擬店もしくはアートマーケットへの出店をお願い致します。
- ・会場内は禁煙・禁酒、持ち込みも不可です。
- ・ステージ上への飲食物の持ち込みは厳禁です。(Red Arenaは除く)
- ・エントリー数が設定した出場枠を超過した場合は、抽選または発表時間の調整を行います。その際は事前にお知らせ致します。
- ・参加する団体は大学祭実行委員会で決定したタイムテーブルを守ってステージを活用してください。
- ・大学祭実行委員会から補助金の交付は一切ありません。
- ・その他諸注意につきましては、6・7ページに記載しておりますので、ご確認ください。

応募・提出物について

応募方法・提出物

- ・ 桑芸祭公式 Web 内のエントリーフォームよりご応募ください。
- ・ その際の必要事項は以下の通りです。
 - 団体名 (チーム名)
 - 団体の人数
 - 団体の人数の内、学外者の人数
 - 発表のタイトル
 - 代表者の氏名・学籍番号
 - 代表者の連絡のつくメールアドレス・電話番号
 - 希望ステージ (Green Stage / Red Arena)
 - 希望時間帯 (日付と時間帯をご記入ください)
 - 控え室の使用希望の有無
 - 発表ステージ内容
 - 使用を希望する大学備品
 - 音響設備使用の有無
 - 音響機器以外に使用する予定の電力数・機器
- ・ 後日、ご提出いただくものは以下の通りです。提出方法・スケジュールはエントリー後に改めてお知らせいたします。
 - ブースアイコン (100×100mm/300ppi)
 - パンフレット用紹介文 (60 文字程度)
 - 桑芸祭公式 Web 用紹介文 (140 文字程度)

タイムテーブルの調整について

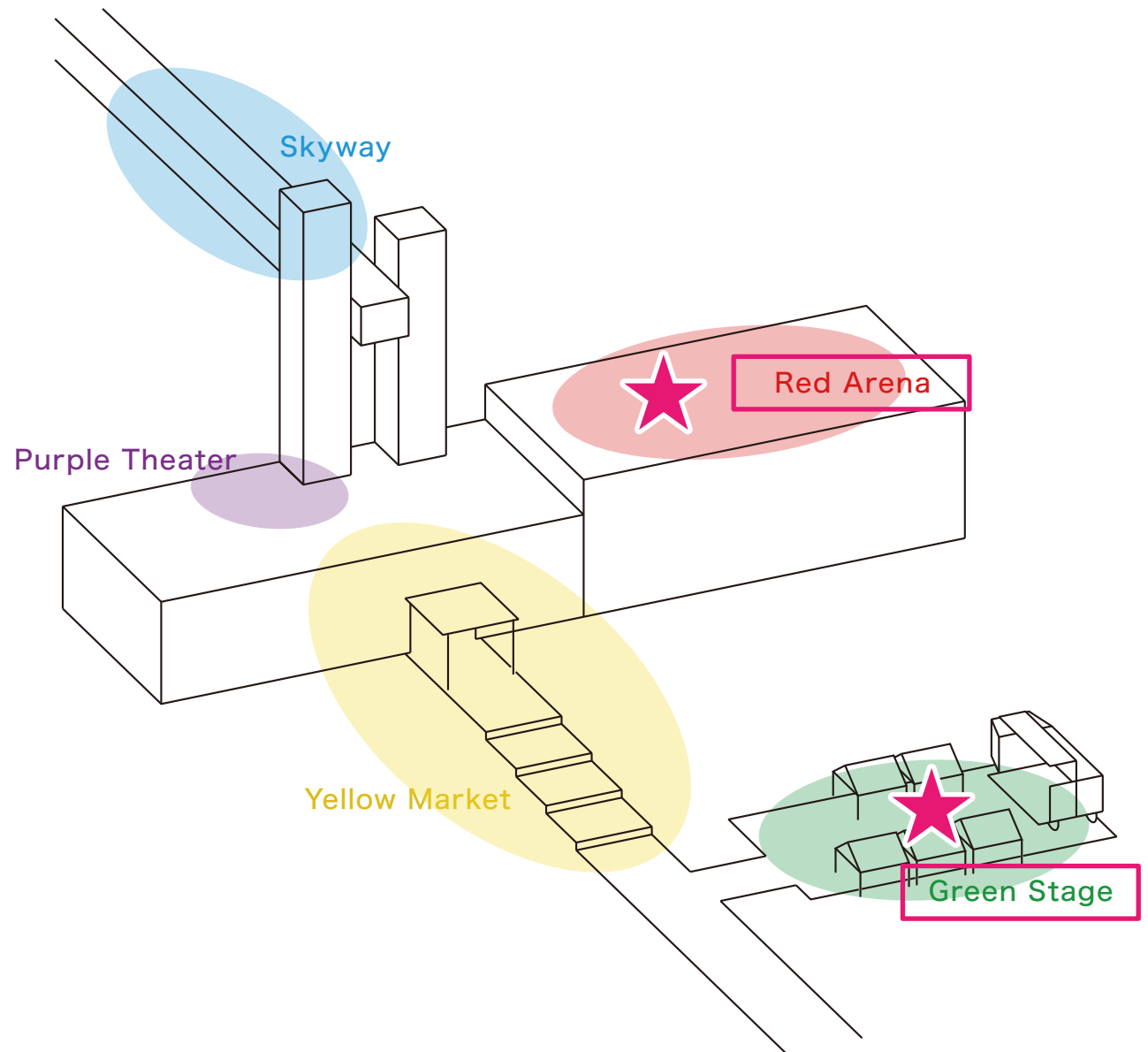
- ・ 実施時間帯は両日ともに 10:30～17:30 の間となっております。エントリーフォーム「希望時間帯」欄に上記の間で希望する時間帯をご入力の上、ご送信ください。
- ・ 本年度も希望ステージ・時間が複数団体で重複する可能性が高く見込まれますので、時間配分・タイムテーブルの決定のために数回、参加団体代表者によるミーティングを設定致します。このミーティングは大学祭実行委員会ショーケースグループおよび芸術の森キャンパス実行委員長が担当し、参加されなかった場合は当該団体はタイムテーブルの調整に不利に扱われる可能性がありますので、所定の日時お集まり頂きますよう、ご協力お願い申し上げます。

控え室について

- ・ 本年度は大学祭実施エリア再編のため、大幅に使用箇所を致しております。そのため、例年ご参加頂いております団体の皆様には、例年使用している控え室から別の場所へ変更させて頂く場合がございます。ご不便をおかけしますが、ご理解とご協力の程、宜しくお願い致します。

ショーケース ステージ設営エリア

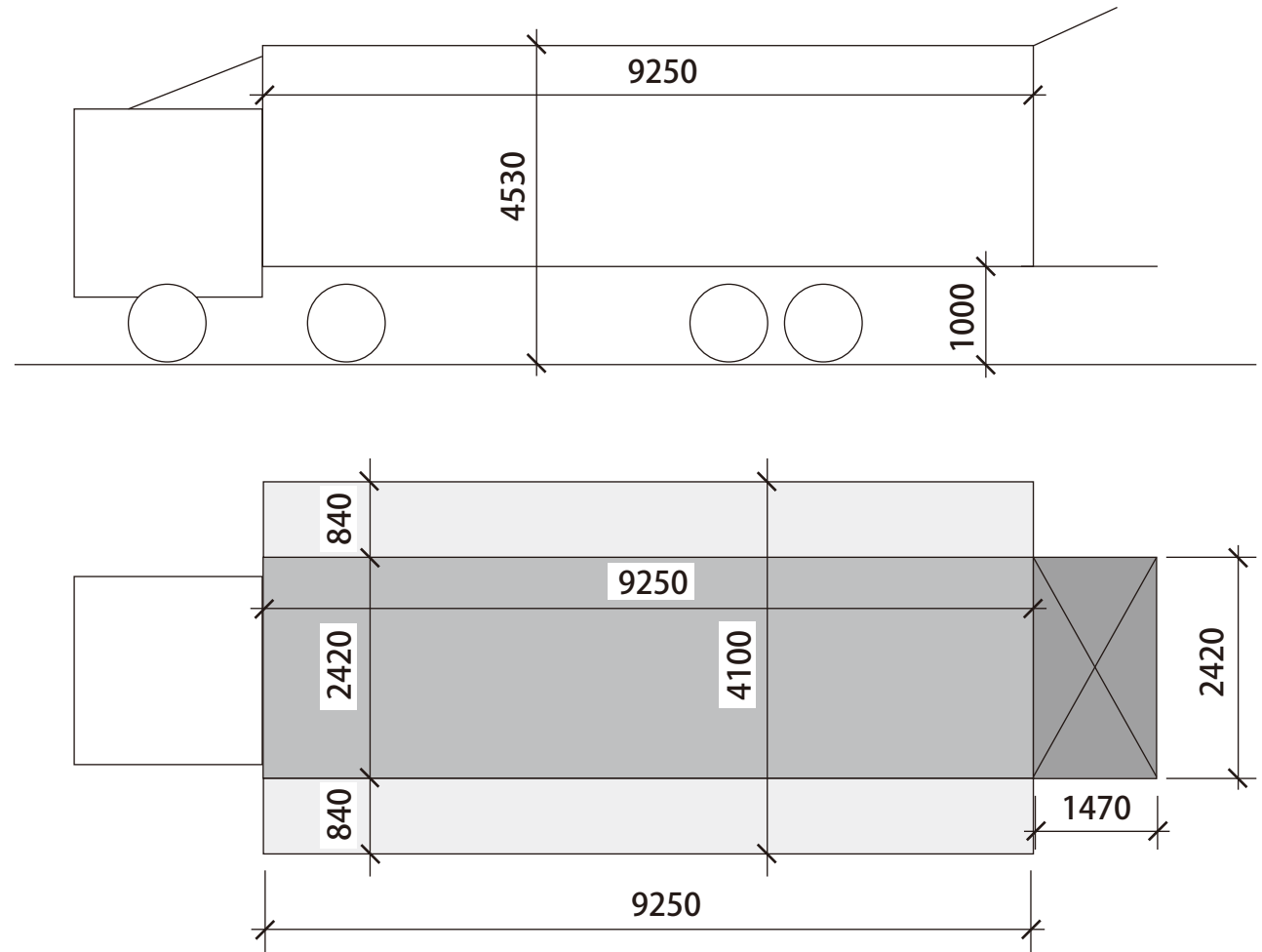
- ・ショーケースにて使用するステージを設置するのは、駐車場に設営する特設ステージの「Green Stage」と例年通りの使用が可能な「Red Arena」、の2エリアです。
- ・本年度大学祭においては、大学祭実施場所の大幅な変更を行うため、大学祭として使用をするエリアを昨年度よりも限定しています。これに伴いまして、ショーケースにて設営するステージのエリアも変更になっております。また、他の企画と連動的な運営・売上げの増加を狙い、ステージ設営エリアを2つに分けております。
- ・エントリー時に「Green Stage」または「Red Arena」のどちらのエリアが良いか、希望を入力する欄がありますので、該当するものにチェックを入れてください。



Green Stage 特設ステージについて

- ・ステージカーを使用して、ステージを設営します。
- ・場所はエントランス前の駐車場に、ステージ正面が南側へ向くように設営します。（その点については全ページエリア配置図をご覧ください。）
- ・屋外ですので照明は使用できません。また、持ち込みの照明も使用できませんのでご注意ください。
- ・小雨決行ですが、ショーケースを行うかどうかの最終的な判断は各団体の代表者に一任します。その際は実行委員会へご連絡をお願いします。
- ・当日の Green Stage の音響は本学軽音楽部 halo. 様にご協力いただく予定となっております。
- ・電力の使用も可能ですが、飲食模擬店も含めた Green Stage エリア全体で上限が決まっておりますので、ご希望に添えない可能性があります。予めご了承ください。

11t ステージカー ステージ展開時寸法（概算）



ステージの使用方法、周辺の設営方法など、ご質問・ご相談等ありましたら、1ページ目の連絡先までお気軽にお問い合わせください。

電力使用について / その他諸注意

電力使用について

- ・ブレーカーが落ちないように、事前に電力使用量を取りまとめ、調整を行います。
- ・当日は使用を申請した機器以外は、コンセントに接続しないようにしてください。使用機器に変更がある場合は、事前に大学祭実行委員会へ連絡をお願いします。
- ・使用できる電源は、大学祭実行委員会で指定したコンセント口からのみです。そこから先は申請した機器のみの接続とし、電源タップ等でコンセント口を増設することは認めません。
- ・電力を引き込む際に使用するドラムリールは大学祭実行委員会で用意をしますが、引き込みの際にお手伝いいただけると幸いです。
- ・使用電力に余裕のあるブースには電力超過団体への供給をお願いすることがあります。

その他諸注意

- ・盗難、破損、現金の盗難、会場内及び駐車場内での事故については、主催者は一切その責任を負いません。各自の責任において対応してください。
- ・同一人が代表者として重複申込、エントリー内容に虚偽があった場合、開催当日にエントリー内容と異なる内容かつ事務局に報告していない場合は、申込みを全て取り消し、出場をお断りさせていただきます。
- ・ショーケース出場枠の第三者への譲渡、売買は禁止します。
- ・主催者は、天災その他不可抗力により日程を変更、または開催内容を中止することがあります。主催者はこれによって生じた損害の補償や費用の増加、その他不利な事態に陥るなどに対する責任を負わないものとします。
- ・出場者はいかなる場合でもタイムテーブル・配当ステージおよび控え室の配置における苦情及び変更希望、また出場取消等を申し出ることはできません。上記要因においてトラブルが発生した場合は、出場を中止していただきます。

その他諸注意

- ・ 応募企画案の著作権などに関する全ての知的財産は応募者にあります。そのためこれを保護する責任は応募者本人となりますので、応募の際は応募者が自ら必要に応じて権利保護等の措置を講じてください。
- ・ 応募企画案や制作者名は、採用の有無に関わらず、一般に公開される可能性がありますので、あらかじめご了承ください。
- ・ 企画案に係る、著作権法第21条から第28条に規定する権利については、全て応募者本人が有することを保証します。ただし、札幌市立大学大学祭実行委員会が本学大学祭における業績・イベント実施例として紹介する目的等で著作権法第21条から第28条までに定める権利を行使することを許諾して頂きます。
- ・ 企画案については、応募者と協議の上、桑芸祭における一企画として実行する上で必要な補作（修正）をお願いすることがあります。
- ・ 提出された資料は原則として返却や複製物のお渡しは致しません。必要な場合は予め控えを残した上でご応募ください。
- ・ 応募企画案、またこれに使われる写真、図面、その他の要素全てについて、公序良俗その他法令の定め反するもの、誹謗中傷を含むもの、反社会的勢力の活動を助長するもの、著作権その他第三者の権利を侵害しているもの、及びこれらの恐れがあるものは、企画の実施を認めません。また、企画実施決定後であっても、これらの条件に反していることが判明した場合、企画の実施を取りやめていただくことがあります。
- ・ 応募要項に記載された事項以外について取り決める必要が生じた場合、主催者の判断により決定します。応募者は、その内容に同意できなかった場合は応募を撤回できます。
- ・ 個人情報は、応募企画案の受付や問い合わせ、その後の事務手続きの連絡、書類・作品の返却、その他桑芸祭の運営業務で必要と思われる事項、および次回以降の案内をするために利用させていただきます。原則として、法令の規定に基づく場合を除き、ご本人の承諾なしに、それ以外の目的で個人情報を利用または第三者に提供することはいたしません。

テーマ「Colorful」

コンセプト

本大学はまるで違う分野の看護とデザインの2学部の学生が活躍している。分野が違うということは、場所も違う、パーソナリティももちろん異なる。まさしく「十人十色」という言葉が当てはまり、その「色」を前面に押し出していこうというコンセプトのもと「Colorful」というテーマを設定した。

また、学生それぞれがカラフルな個性を存分に活かすこと、地域のみなさんを中心とした来場者の方々に色とりどりの企画に参加し、楽しんでもらうことを目標に、共創型の大学祭を目指し、人と向き合う場としての環境づくりにも取り組んでいきたい。

なお、フレーズについてはキャッチーなものの方が馴染みやすいのではないかとことから、英語を採用している。

メインメッセージ

今年で13回目を迎える、札幌市立大学の桑芸祭。
テーマは「colorful」。

看護とデザインという2分野の人々、そして2つのキャンパス。
いろんな人がいれば、
いろんな個性があって、いろんな気持ちもある。
土地が違えば、空気も違うし、雰囲気だって、景観ももちろん違う。

いろんな人がいれば、いろんな場所があれば、
それぞれがいろんな色を持っていて当然である。
そういった、それぞれの色をみんなが自慢できるような、
色とりどりの大学祭にしようじゃないか。

そして、桑芸祭をみんなの色で
鮮やかに、美しく、楽しく、盛り上げていってほしい。

キャンパスは、
みんなの色が重なりあって、世界で一つだけのキャンパスとなる。
さあ、キミも色を重ねよう。あなただけの色で。